



大分の 頼れるドクター



別府市

ベップワンジンヒニョウキビョウイン

## 別府湾腎泌尿器病院



### プロフィール

さとう ふみのり  
**佐藤 文憲** 病院長

平成2年(1990年)、大分医科大学(現・大分大学医学部)卒業。米国マサチューセッツ総合病院・ハーバード大学客員研究員を経験。帰国後は長年、大分大学附属病院に勤務。特任教授を経て平成30年(2018年)、別府湾腎泌尿器病院で病院長就任。日本泌尿器科学会専門医・指導医、日本泌尿器内視鏡学会腹腔鏡技術認定医ほか。医学博士。

### Column

当院で行う前立腺がんのダヴィンチ手術は、腹部に小さな穴を数か所開けるだけなので開腹手術より出血や傷の痛みも少なく、術後の早期回復が見込めます。入院期間は約10日間で保険適用されます。患者さんの状況を総合的に判断して、手術以外に薬物療法や放射線、重粒子線などの治療法を選択する場合は、他医療機関への紹介も行っています。

**前立腺がんでは重要なのは PSA 検査による早期発見**

中高年男性に多い前立腺がんは加齢によるホルモンバランスの変化が関与すると考えられます。日本でも生活の欧米化に伴い増加傾向にあり、男性が発症するがんの中で最多となりつつあります。初期は自覚症状がほぼなく、排尿障害や排尿時の痛み、血尿などが見られ、進行すると他の器官に転移し、骨に転移した場合は腰痛が表れます。発見の手掛かりとなる腫瘍マーカーは前立腺で分泌されるPSAというタンパク質です。血液検査によるPSA値が4を超える場合は精密検査が必要となります。診断には直腸診

や経直腸エコー、MRIを併用しながら、針で前立腺の組織の一部を採取する針生検も行います。当院は前立腺がんの診断から手術まで一貫して世界標準の最新鋭の医療を提供しており、高精度前立腺ターゲット生検装置「トリニティ」や腹腔鏡下手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入しています。ダヴィンチ手術は開院以来5年間で約470例、直近1年間で112例を実施。術後3カ月で90%の方が尿もれのない状態に回復します。前立腺がんでは何より重要なのは早期発見です。50歳以上の男性は健康診断時にPSA検査を受けることを強くお勧めします。



県内外からも受診者が訪れる泌尿器科。地域包括ケアや健診でも地域医療を支える。

DATA

## 別府湾腎泌尿器病院

tel.0977-66-4111

<https://bbuh.jp/>

**【診療科目】泌尿器科、内科、循環器内科、糖尿病内科、婦人科、麻酔科(局麻)、リハビリテーション科、放射線科**

**【対応診療】前立腺癌、腎・膀胱悪性腫瘍、尿路結石など泌尿器科疾患、内科疾患**

- 住 所/ 別府市北石垣深町851
- 駐 車 場/ 80台
- アクセス/ JR別府大学駅から徒歩約3分

| 診療時間           | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日祝 |
|----------------|---|---|---|---|---|---|----|
| 午前 9:00~12:30  | ● | ● | ● | ● | ● | ● | -  |
| 午後 13:30~17:30 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | -  |

※年末年始は休診

